

人文学基礎（人文学と対話）第8回

人文学を社会で活かす・ 人文学の大学院生のキャリア形成について

主担当教員：高橋 綾（人文学林 講師）

副担当教員：火曜 北村毅先生（日本学） 水曜 菅原裕輝先生（人文学林）

TF：水曜 陳凱歡さん（言文） 木曜 村井勇輝さん（外国学）

TA：火曜 大城奈都さん（芸術学）・三輪涼雅さん（基礎工学部 D1）

水曜 チョスンヨンさん（日本学） 木曜 阿部悠太さん（人文学）

授業の目的と内容

【目的】

「人文学（研究で学んだこと）を社会に活かす」「人文学の大学院生のキャリア形成について」というテーマで「言いつばなし聞きつばなし」形式で対話を行います

【内容】

1. はじめのミニワーク “発声練習”（15分）
2. 今日のワークの説明（10分）
3. 対話型ワーク⑧
「人文学（研究で学んだこと）を社会に活かす」「人文学の大学院生のキャリア形成について」「言いつばなし聞きつばなし」形式で対話をする（45分）
4. 授業についての連絡・最終レポートの提出について（20分）



対話型ワーク⑧

「人文学を社会で活かす」「人文学の大学院生のキャリア形成」について「言いっぱなし聞きっぱなし」形式で対話を行う


「人文学（研究で学んだこと）を社会に活かす」「人文学の大学院生のキャリア形成について」「言いっぱなし聞きっぱなし」の形式で対話を行う

【ワークの進め方】2~3グループに分かれ「言いっぱなし聞きっぱなし」形式で対話をします

- (1) 最初に発言する人は「私の（呼ばれたい）名前は〇〇です」と自分の名前を言う。他の人はミュートを解除し、「〇〇（さん）」と名前を呼びかける。
- (2) 発言者は次に事前学習動画を見て、「人文学を社会に活かす」や「人文学の大学院生のキャリア形成」について考えてきた自分の問いをチャットに書く。問いをチャットに書いたら、自分の立ててきた問いについて説明し、それに対する自分の答えや考えも話す。

【注意点】

- ・(A) (B) 以外にも、自分のキャリアについての考えや経験、悩んでいることなど、自由に話してよい。ただし、他の人が話す時間や(4)の時間もあるので、あまり長く(5分以上)は話せません。
 - ・順番が回ってきたときに心の準備ができていない場合は「後に回してください」と言ってください。逆に早めに話すターンを済ませたい人は、挙手してもかまいません。(全員に話す番は回ってきます。)
 - ・事前課題として書いてきたものがある場合、それをそのまま読み上げるのはなるべくやめてください。
 - ・先に話した人の意見に言及したり、同意や反論・異論を表明することはしないで、自分の意見だけを述べてください。すでに似た内容が話されていてもかまいませんので、自分なりの言い方で言ってみてください。
 - ・ワーク・対話の性質上、一般論（誰でも言えるようなこと）や人の意見の引用だけではなく、できるだけ、あなたからしか聞けないことやあなたらしい言い方で話をするようにしてください
 - ・聴いている時は、今回のワークでは聞き返す（質問）することはできません。ただし、軽くうなづくなど、リアクションがあるほうが、話しているほうは一般的に話しやすいです。
- (3) 発言者は話し終わったら、次の人を指名する→指名された人は(1) (2)を話して全員が話し終わるまでこれを続ける
 - (4) 全員が話し終わって、時間が余った場合は、他の人に聞いてみたいことを質問することや、誰かの問いに対して全員が意見を言うなどの2巡目に入ってください。



授業についての連絡・

最終レポートの提出について

ふりかえりシートの記入・提出について

- ◆ 最終回も、今日の対話を振り返って、ふりかえりシートを記入し、提出してください。授業はこれで終わりですが、第8回のふりかえりシートの最終締切は今までと同じ一週間後の8:50までとします
- ◆ 今回は(3)の項目に以下のことを書いてください
 - ・グループで話し合ってみて、あなたが考えたり、気づいたりしたこと

人文学基礎（人文学と対話）ふりかえりシート 第 回（ 月 日）分

クラス：春学期 曜日 名前（授業でのニックネーム）

【1】（必須）今日の授業（現時点）でのあなたの態度・状態を振り返って正直に記入してください

		1 苦手である ・できない	2 少しできる ・努力して いる	3 時々できる	4 できる	5 いつでも よくできる
セルフ ティ・ アサー ティブ ネス	1.自分とは異なる感じ方や考えでも、いきなり批判や否定せず、聴き、理解しようとする 2.自分の困りごとや相手にとってネガティブなこと、相手と自分の意見が違う場合でも、それらを率直かつ適切な言い方で伝える 3.様々な属性、能力や特性の人が発言しやすい場をつくるために配慮する					
質問・ア クティ ブリス ニング・ 共感	4.自分とは異なる感じ方、考え方を持つ人に対して、相手の考えや自分と他人の違いを知るためにさまざまな角度から質問をする 5.他者の感じ方、考え方について、相手の立場に立って、共感的に理解する					
セルフ アウェ アネス	6.他者との対話のなかで、自分が感じ、考えていることや無意識に当たり前と思っていたこと（前提）にあらためて気づく					
協働の 探究	7.具体的な事柄や複雑な問題について、自分で考える切り口を見つけ、探究のための「問い」を立てる 8.他者の考えたいことや「問い」を理解し、それに応答し、寄与する意見を言う 9.協働の探究が進むように、積極的に新しい論点を出し、対話の進行についての提案をする					
		1 まったく 感じない	2 すこし そう感じる	3 そう感じる	4 かなり そう感じる	5 強くそう 感じる
コミュ ニティ 形成	10.対話の参加者（クラスのメンバー）に対して、違いがあっても協働して探究することのできる仲間（コミュニティ）だと感じる					

【2】（必須）今日の対話で、印象に残ったこと、自分や他人、テーマについての気づき特に（1）の項目の自己評価がよくも悪くも変わった場合には、そう考えた理由を書く

【3】（授業内で指示があった場合必須）授業の内容のふりかえり、グループで話された内容についての気づき、あなたが考えたこと

【4】（任意）教員からの回答や対応が必要なこと

最終レポートの提出について

人文学基礎（人文学と対話）の授業はこれで終了です。実際に8回対話と探究を行なってきた、みなさんの対話と協働の探究についての理解は深まり、その態度は身についたでしょうか。また、現代社会における人文学（研究）のあり方・課題について、何か発見やヒントが得られたでしょうか。

人文学と対話 最終レポート課題 2025夏（もう少し詳しい文章をCLEにも掲示しています）

- 以下の2点について、それぞれ1500文字以上2000文字以内で自分の考えを述べてください。
- 文字数を各論述の最後に書いてください。
- （1）と（2）のレポートは一つのファイルにまとめ、冒頭に「人文学と対話 春学期 最終レポート 学籍番号XXXXX 氏名 ○○○」と書いてください。
- ファイル形式はpdfファイルにしてください。
- 提出の締め切りは2025年8月17日（日）の23時59分までとします。

(1) 「対話」と「協働の探究」について（生成AIは使用できません）

この授業で対話と協働の探究という考え方、方法についてあなたが理解したこと※と、クラスのメンバーと対話と協働の探究を行ったあなたの経験を総合して、あなたが学んだこと、考えたことを1500文字以上2000文字以内で書いてください

※対話と協働の探究という考え方、方法については下記の解説や文章を主要（一次）文献としますので、これらを読み、理解した上で、レポートを作成してください。（文献からの引用をする場合は学術論文作成の際の書式にならってください。）

【主要文献】

- ・授業の各回の配布スライドや第二回、第三回の事前学習動画の内容、スライド
- ・高橋のオンライン連載「なかなか会えないときだから考える、コロナ時代の対話とケア」（<https://jnapcdc.com/LA/takahashi/>）のsession1~6

※この連載は、医療者、看護師を対象に書かれたものであるため、医療・看護の例、用語、看護師からのコメント「今日のひとこと～緩和ケアの現場から」が出てきますが、その部分は除外し、対話と協働の探究の考え方や方法の解説のところのみこちらを参照ください

※これ以外の参考文献については、CLEの最終レポート課題の掲示に書いてありますのでそちらも必要であれば参照してください。

(2) 現代における人文学研究の課題について（生成AIは使用できますが、使用の場合はどのように使用したか明記してください、また生成AI使用の場合は、使用の仕方も評価の対象となります）

第5回（デジタル技術と人文学）、第6回（人文学研究と倫理）、第7回（人文学と現代における共生や人権の課題）、第8回（人文学を社会に活かす・人文学の大学院生のキャリア形成）のテーマから自分が最も関心がある回のテーマを選び、そのテーマに関連する〈問い〉を自分で立て、その〈問い〉に対するあなたの考えを1500文字以上2000文字以内で書いてください。〈問い〉の立て方、基準は、授業で紹介した対話と探求のための〈問い〉と同じです。

第6回、第7回については、個々の事例やその是非についてだけ論じるのではなく、事例を通じて見えてくる人文学研究（者）にとっての課題についても考えるようにしてください。

(2) のレポートを作成する際には、その回の事前学習動画、スライドをもう一度見直し、その回のグループでの話し合いの内容等も踏まえてください。また、事前学習動画で関連記事や参考文献が紹介されている場合はその文献も読んでからレポートを書くことを推奨します。